

度ヲ判セントスルモノハ上ノ例ノ如キモノニシテ適以テ判者ノ愚ヲ顯ハスニ過  
ザキルノミ豈ニ之ヲ意トスルニ足ンヤ吾祝セントスルニ當リ胸間ニ鬱勃シ來レ  
ルモノアルヲ覺フ故ニ退之ニ做フテ頌ヲ以テセズシテ規ヲ以テス編者願クハ編  
纂上捨ノ範圍ヲ小ニスルト共ニ取ノ領分ヲ大ニシテ天空海濶鹽谷判官ノ瑕物ヲシ  
モ利用セルノ意ニ取ル所アレ

## 文苑

題韓信出勝下圖

豫科一級乙組

火洋朝山景秀

此勝下可以屈此身。不可以屈此志。是韓信之所以立功於天下也。得此人而漢併天下。亡  
此人而楚失天下。忍耐之功用何其偉大矣哉。古人以忍耐之二字。爲一生之務。亦不宜哉。  
嗚呼。此一片小圖。能寫英雄屈伸之機。天下之人可以鑑焉。

謁征西將軍廟

笠間

梧園

芳山春老雨蕭々。遺恨千年黯不銷。幸有黃花持晚節。西偏護得小南朝。

直於高等中學寄宿舍二首

三百生徒各倚燈。沈思緘默靜於層。此中自有飛驕勢。他日幾多鯤化鵬。

枕頭長儀響鏘々。獨直蕭々警夜長。秋氣侵人悚難睡。玻璃窗外月如霜。

送今井先生罷職赴清國

菊潭 源長 木崎

秋滿高城萬樹黃。江村寂寞氣荒涼。一聲孤雁時驚夢。千里行人欲斷腸。片葉隨風那有故。浮雲出岫本無常。柳條不繫馬蹄早。疎影依稀引恨長。

送友人之支那

全

旭旆翻風萬里晴。火輪蹴浪破天行。鳴鴉伸翼略南越。虎豹鳴牙逼北京。虞虢從來膺齒誼。日清只管輔車情。西歌氣焰君留意。東亞禍機入眼明。

梧園先生曰。起處雄壯。

又曰。憂國情溢於紙上。

次晚香澁江先生瑤韻

全

茫茫五六大洲中。萬世金甌孰得同。絕海任那嘗納貢。懸軍必烈不成功。俗優揭孝表忠節。氣奮經文緯武風。寄語神州君子國。勿泥新樣誤西東。

梧園先生曰。後對精確。

又曰。七八。輕騷壯士。項門一針。

祝高等中學校開校紀念會

全

高厦築來避俗塵。入門三百四方身。道窮今古而時習。學遍東西又日新。白水競舟明月晚。  
蘇山狩兔朔風晨。堪歡九國科場毅。欲墮英雄幾許人。

梧園先生曰。前聯語有來歷。

八代行軍紀行一節

今年もはや四月なかばをすぎぬ、長閑なる春深く、霞みわたして、藤のたつ浪さちかへり、八丈の絹わりなせる菜の花は、咲き亂をたる蓮華草も色どらき、遠き野末より、雲雀の二羽、三羽、まひ上るさま、めもあやなり、いでや、この時をすこさず、日ごるのやるなきうさ晴さんと、八代あたりへ、行軍することゝなりぬ、

二十一日 午前七時ばうりよ、喇叭を吹きならしつ、いといさましく門出す、わをわし生徒の數は、二百人に餘りぬべし、やがて水前寺に着きぬ、しばし木蔭にいこいて立ち出つ、此日しも、空よくはれたれば、あつきことかぎりなく、ちりさへ飛ひちがいて、いとうるさし、からくゑて、正午と覺しき頃、御船の町につきぬ、とある寺をうりて、背囊などおろしつ、晝げたうべ、友垣一人二人とらあたりを散歩す、この地と去ぬる十とせ西南の役に、いとばげしき、戦ありしとあるときゝぬれど、はやるの跡